

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成23年8月8日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6155 URL <http://www.takamaz.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 喜与志  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 溝口 清 (TEL) 076-274-0123(代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,871	37.7	36	—	49	—	26	—
23年3月期第1四半期	2,085	201.3	△200	—	△176	—	△74	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 44百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △84百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.51	2.50
23年3月期第1四半期	△6.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	14,252	8,144	56.7
23年3月期	14,343	8,129	56.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 8,077百万円 23年3月期 8,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.00	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	6,552	37.7	144	—	170	—	123	514.8	11.50
通 期	13,297	21.4	477	474.2	530	301.7	349	4.4	32.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	11,020,000株	23年3月期	11,020,000株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	302,129株	23年3月期	302,084株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	10,717,897株	23年3月期1Q	10,718,014株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や電力不足問題などの不透明な要素がありながらも、生産活動が回復に向かい、緩やかながらも改善してきました。

工作機械業界におきましては、アジアを中心とする外需が堅調に回復を続けている中で、内需も緩やかに回復してきたことで、平成23年6月の業界受注総額では1,286億円を記録し、リーマンショック前の水準まで達しました。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結売上高は28億71百万円と、前年同期に比べ7億85百万円(37.7%増)の増収となり、営業利益は36百万円(前年同期は2億円の営業損失)、経常利益は49百万円(前年同期は1億76百万円の経常損失)、四半期純利益は26百万円(前年同期は74百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 工作機械事業

工作機械事業におきまして、当社グループの生産及び受注状況に対する東日本大震災の影響は極めて軽微におさまりました。また、被災されたユーザに対しましては、復興支援を行うとともに、情報収集に努めてきました。

海外では、堅調に需要が増加しておりますので、当社グループでも市場シェア拡大のために受注確保をはかってきました。アジアの中でもタイ市場では、自動車関連ユーザに高い需要がありましたので、プライベート・ショーを開催するなど現地連結子会社と連携した営業活動を推進し、需要取り込みに注力してきました。欧米市場でも需要が回復し、前年同期を上回る受注を獲得することができました。

中国市場では、工作機械需要が今後も高まっていくと見込めますので、営業体制の強化をはかり、新設した喜志高松貿易(杭州)有限公司による営業活動をより活発に行うとともに、新規ディーラー開拓を推進してきました。また、CIMT2011(北京)に出展し、製品及び技術のアピールを行いました。

研究開発におきましても、ユーザニーズが高まっている複合加工機の開発を進めてきました。

この結果、受注高が堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間における工作機械受注高は、30億18百万円(前年同期比73.8%増)となり、工作機械受注残高は48億76百万円(同97.9%増)となりました。

売上高におきましては、25億60百万円(同41.3%増)となり、その内訳は、内需12億98百万円(同4.9%増)、外需12億62百万円(同119.8%増)、外需比率49.3%であります。また、営業利益は15百万円(前年同期は2億2百万円の営業損失)となりました。

#### IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、半導体向け製造装置の旺盛な需要を受け、売上高が堅調に推移してきました。また、新たな受注確保に向けた営業活動を推進してきました。

この結果、売上高は2億28百万円(前年同期比48.8%増)となり、営業利益は26百万円(同382.0%増)となりました。

## 自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、震災により自動車メーカーの工場が稼働停止となったことから、生産量が減少しましたが、当第1四半期連結累計期間中に徐々に回復してきました。また、新たな受注確保に向けて積極的な営業活動を継続的に行ってきました。

この結果、売上高は81百万円(前年同期比31.7%減)となり、営業損失は6百万円(前年同期は3百万円の営業損失)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、0.2%減少し、87億5百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、1.3%減少し、55億47百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減価償却等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、0.6%減少し、142億52百万円となりました。

## ② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、1.9%減少し、45億2百万円となりました。これは主として、短期借入金や賞与引当金の減少、未払費用の増加等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、1.0%減少し、16億5百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少等によるものであります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて、1.7%減少し、61億8百万円となりました。

## ③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて、0.2%増加し、81億44百万円となりました。これは主として、その他の包括利益累計額の増加等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に当たり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であるため影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,418	2,021
受取手形及び売掛金	4,299	4,547
商品及び製品	244	239
仕掛品	670	846
原材料及び貯蔵品	700	677
その他	392	378
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	8,721	8,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,029	1,010
土地	2,332	2,332
その他(純額)	1,054	999
有形固定資産合計	4,415	4,342
無形固定資産	31	28
投資その他の資産		
その他	1,175	1,176
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,174	1,175
固定資産合計	5,621	5,547
資産合計	14,343	14,252

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,033	3,089
短期借入金	1,129	929
未払法人税等	33	24
賞与引当金	128	53
役員賞与引当金	20	5
製品保証引当金	23	27
その他	222	372
流動負債合計	4,591	4,502
固定負債		
長期借入金	867	842
退職給付引当金	482	489
役員退職慰労引当金	253	251
その他	18	22
固定負債合計	1,622	1,605
負債合計	6,214	6,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,833	1,833
利益剰余金	4,518	4,513
自己株式	△121	△121
株主資本合計	8,065	8,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	41
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△37	△24
その他の包括利益累計額合計	△0	17
新株予約権	64	66
少数株主持分	0	0
純資産合計	8,129	8,144
負債純資産合計	14,343	14,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,085	2,871
売上原価	1,749	2,240
売上総利益	335	630
販売費及び一般管理費	536	594
営業利益又は営業損失(△)	△200	36
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	2
助成金収入	7	—
再生物売却収入	2	3
持分法による投資利益	1	6
その他	14	5
営業外収益合計	28	18
営業外費用		
支払利息	1	4
為替差損	—	1
保険解約損	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	4	5
経常利益又は経常損失(△)	△176	49
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△176	49
法人税、住民税及び事業税	6	7
法人税等調整額	△108	14
法人税等合計	△102	22
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△74	26
少数株主利益	0	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74	26



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△74	26
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	4
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	0	6
持分法適用会社に対する持分相当額	1	7
その他の包括利益合計	△10	17
四半期包括利益	△84	44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85	44
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。